## 平成25年度

# 事業報告書



社会福祉法人 亀の子

## 目 次

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1.	法人の目的	的	2
2.	法人の基準	本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3.	利用者の	爰助 ••••••	2
	(1)	基本方針 ·····	2
	(2)	生活支援【亀の子サポートセンター】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
		【のほほん】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	(3)	生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	(4)	訓練等支援【亀の子工房】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	(5)	福祉的就労支援【遊亀館】	17
	(6)	就労支援【ジョブ亀の子】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	(7)	住まいの支援【タートルホーム】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
		【コーポ亀の子Ⅱ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
		【コーポ亀の子Ⅲ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
	(8)	高齢者支援【亀の子デイサービス】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
	(9)	子ども支援 【たから保育園】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
		【かめっ子クラブ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	(10)	運動 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	31
	(11)	給食	31
	(12)	メンバーの家族との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
	(13)	地域福祉との連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
	(14)	諸会議	33
	(15)	職員の役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
	(16)	非常災害対策 ••••••	35
	(17)	職員教育 ••••••••	35
	(18)	社会貢献活動 •••••••	42
4.	苦情解決		42
5.	情報公開		42
4.	法人運営		42

平成25年度社会福祉法人 亀の子 事業報告

事項	内容
1. 法人の目的	この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
2. 法人の基本 方針	<ol> <li>大田圏域の障がい者で、保健福祉の支援を必要としている人に対し、利用者の人間美をひきだし、信頼関係を深め、一人ひとりのライフステージに添った人生の物語が実現できるように支援体制を整えます。</li> <li>障がい者福祉の総合的なコミュニティソーシャルワーク(CSW:地域福祉の拠点となり。『さわやかに 明るく さりげなく 豊かな出会いの場』を目指します。</li> <li>障がい者福祉、高齢者福祉そして児童福祉が一体化することにより、先進的な多機能サービス(地域共生ケア)が提供でき、豊かな地域社会が形成されるよう貢献します。</li> </ol>
3. 利用者の援助 (1)基本方針	<ol> <li>利用者一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場とします。</li> <li>自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場とします。</li> <li>亀の子セルプは、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場とします。</li> <li>「障害者を世の光とする」メッセンジャーとなります。人として、生きるメッセージを与えていく場となります。</li> <li>苦情に対しては、誠心誠意を込めて対応を行います。</li> <li>個人情報は、部外者に漏れないよう大切に扱います。</li> <li>以上のことに努めました。</li> </ol>

事項		Þ	7				ř					
(2)生活支援	【亀の子サポート	・センタ・	一】(相	談支援	事業所)							
	1. 目的 障がい者等 権利の擁護の おける生活を 目的としてい 2. 方針	うために ·支援し	必要な	支援を征	行うことに	こより、『	章がい者	音等やそ	の家族に			
	大田地域でく当たり前に生	,	- •				•		•			
	3. 開所時間 9:00 ~17:00 (土・日曜日・祝日は、電話を携帯電話に転送して対応) 17:00~ 9:00 (電話を携帯電話に転送して対応)											
	4. 生活相談事業		(単位:	件)(単位	[:人]							
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月					
	訪問	41	68	81	58	44	79					
	来所相談	32	31	31	47	29	43					
	同行	6	8	6	2	5	2					
	電話相談	47	56	50	60	46	39					
	電子メール	0	0	0	0	0	0					
	個別支援会議	26	15	9	16	14	12					
	関係機関	18	34	13	13	11	6					
	その他	1	1	1	0	1	2					
	計	171	213	191	196	150	183					
	実人数	77	71	92	84	66	93					
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均			
	訪問	51	53	46	44	48	31	644	53.7			
	来所相談	34	29	34	31	31	28	400	33.3			
	同行	8	15	7	5	4	5	73	6.1			
	電話相談	41	37	42	39	40	24	521	43.4			
	電子メール	0	0	0	0	0	2	2	0.2			
	個別支援会議	29	18	11	7	11	11	179	14.9			
	関係機関	9	18	9	4	22	10	167	13.9			
	その他	2	0	0	1	1	0	10	0.8			
	計	174	170	149	131	157	111	1,996	166.3			
	実人数	86	84	68	74	58	53	137	75.5			

事 項									
	5. 認定訓	間査						_	
	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	件数	3	4	1	1	5	0		
	実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
	件数	3	4	5	4	6	2	38	3.2

## 6. 相談実績

## 1) 実績内訳

(単位:延べ件数)

			ı			r	r						
実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福祉サービスの 利用等に関する 支援	79	89	78	76	54	77	71	72	56	44	65	51	812
障害や病状の 理解に関する支 援	3	10	5	5	5	10	21	8	10	12	14	11	118
健康・医療に関する支援	14	44	20	20	14	12	25	28	22	10	18	6	228
不安の解消・情 緒安定に関する 支援	57	80	79	79	58	57	43	48	46	44	43	32	668
保育・教育に関 する支援	0	1	1	1	0	0	6	0	0	0	0	0	8
家族関係・人間 関係に関する支 援	11	20	13	13	13	20	17	17	18	22	15	4	181
家計・経済に関 する支援	1	2	5	5	5	0	4	6	8	7	6	3	49
生活技術に関する支援	3	8	5	5	16	15	15	9	14	9	16	5	120
就労に関する支援	5	6	8	8	1	5	7	9	6	8	11	5	74
社会参加・余暇 に関する支援	1	0	0	0	1	3	0	6	1	4	3	1	21
権利擁護に関 する支援	0	2	4	4	1	0	0	0	0	0	1	0	8
住居に関する支 援	5	8	3	3	0	7	2	8	8	6	3	8	59
地域生活移行・ 自立生活に関 する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	11	0	3	3	4	2	5	13	3	6	6	1	58
合 計	190	270	224	208	172	208	216	224	192	172	201	128	2,400

## 2) 計画相談支援件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用支援	20	3	4	5	11	2	
継続利用支援	27	42	48	39	16	56	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用支援	21	10	9	9	8	5	107
継続利用支援	16	23	26	33	23	36	385

## 3) 障がい児計画相談支援件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用支援	0	0	0	0	2	1	
継続利用支援	0	0	0	0	0	2	
	40 [		400	4 F	οП	о п	۱۵ ۸
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用支援	0	0	0	1月 1	2月 0	3月 0	合計 4

## 4) 支援対象者数

	年度初め	新規則者	利用終了者	年度末
障がい者	77 (60)	33	10	83
障がい児	0	5	1	4
合計	77 (60)	38	11	87

注)()内は、4/1新規契約者を除いた数字

## 7. 一般相談支援事業

## 1) 地域移行利用状況

	退院者数	入院中	中断者	利用者数
石東病院	0	1	1	1
合 計	0	1	1	1

## 2)地域定着利用状况

年度初め	新規川者	中断者	利用終了者	年度末
4	4	0	3	5

事	項			内	]			容			
		8. 高次原1)支援5		害者	支援挑	処点事業					
			10代	20	代	30代	40代	50作	7	0代 以上	合計
		男	1	C	)	3	3	1		16	24
		女	0	C	)	2	2	4		3	11
		計	1	C	)	5	5	5		19	35
		2)新規相	目談者数								
		実人員	量 医療 機関	者	章がい 首支援 事業所	介護保 険事業 所	保健原	所 市町村	・その	他	なし
		5	1		2	0	0	1	1		0
		_ <u></u>		話			5問	メール・ 書簡	その	他	計 01
		本人		9	1		41	3	5		81
		家放 関係機		.1 26	1	4	3 5	0	0		$\frac{17}{35}$
		計		16			49	3	5		133
		4) 研修会 開催 日 4/20	小児の	えいノン	達障が への関	・講師 がい」と「高 引わりについ E		悠	対象者 医療・	数育・	参加 者数 71名
		4) 高次周	図家族の領	集い事	<b></b> 毛績						
		開催			容				参加者 ボラン	関係	1
		日					当事者	家族	ホラン ティア	者等	計
		6/21	<ul><li>○年度記</li><li>○落語銀</li></ul>		合せ・		5	4	2	4	15
		9/19	〇アクア	ス見学	<u> </u>		4	4	3	4	15
		12/13	<ul><li>○土江 (</li><li>○レクレ</li></ul>			会 碁ボール)	4	4	3	4	15
		2/26	会「食	事の耳	対方に	こよる勉強 こついて」 強会「喜欢	5		G		0.0

〇土江 CD による勉強会「高次

脳機能障がいについて」

○料理教室

6

4

5

5

20

2/26

事	項		
		5) その他活動 脳外傷友の会らぶ の協力により、家族相談を実施しました。 (相談開催日) 計7回	
		6) 高次脳機能障害者支援コーディネーター	

6) 高次脳機能障害者支援コーディネーター 小倉 和之

9. 会議等参加状況

1)大田市地域自立支援連絡会定例会

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
出席者数	3	2	3	3	3	3	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出席者数	3	2	2	2	2	1	29

2) 大田市地域自立支援連絡会精神障がい者部会 精神障がい者部会の事務局を担当 平成25年度は、部会を1回開催

## 3) その他

連絡会名等	参加 回数	延べ 参加者数
大田市地域自立支援連絡会発達障がい者児部会	2	2
友和会総会及び例会	2	2
障害者就業・生活支援センター連絡会議	2	2
高次脳機能障害者支援ネットワーク会議(主催含む)	13	21
ゆきみーる運営等検討会議	4	4
地活センター連絡会	3	3
大田圏域精神障がい者地域生活移行支援圏域会議	2	2
ウインドブロック連絡会	2	2

事 項 内 容	
---------	--

## 【のほほん】(地域活動支援センター)

#### 1.目的

障がい者に創作活動又は生産活動の機会を提供し、地域交流活動等を 行うことにより、障がい者の自立及び社会参加の促進を図ることを目的として います。

#### 2. 方針

大田市で生活する全ての障がい者を対象として、障がい者がごく当たり前に生きていける自信に繋がるように支援をおこないました。

#### 3. 開所時間

9:00 ~17:00 (土曜日・日曜日は9:00~16:00)

#### 4. 地域交流活動推進事業

1) 開館日数及び利用者数

(単位:人)

						-	_
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開館日数	27	26	28	29	26	27	
利用者数	71	79	70	73	66	66	
延べ利用者数	495	549	509	485	395	429	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	29	26	24	23	25	28	318
利用者数	71	71	64	70	61	62	120
延べ利用者数	486	483	384	409	415	457	5,496

#### 2) 月例行事内容

(単位:人)

月例行事	開催数	延べ 参加者数	平均 参加者数
カラオケ	80	300	3. 8
お茶会	49	527	10. 8
スポーツレクレーション	45	205	4. 6
のほほんシアター	19	125	6. 6
料理教室	16	104	6. 5
絵画同好会	3	6	2. 0
のほほんミーティング	1	5	5. 0
音楽を楽しむ集い	12	190	15. 8
パッチワーク教室	19	61	3. 2
SST 教室	6	37	6. 2

事 項	内	容
事 埧	$\nearrow$	谷

月例行事	開催数	延べ 参加者数	平均 参加者数
地域交流会	10	79	7. 9
創作活動	12	50	4. 2
家族相談支援事業	23	70	3. 0
習字教室	11	60	5. 5
パソコン教室	10	26	2. 6
エアロビクス教室	6	63	10. 5
ゲーム	12	52	4. 3
Myカレンダー作り	12	56	4. 7
合 計	346	2, 016	5. 8

## 3)各月行事

月	内 容	参加人数
4月	お花見&グランドゴルフ(他施設と合同行事)	4
5月	スペシャル Day「こころの健康について」 スペシャル Day「千葉県の精神科について」	33 27
6月	ボウリング大会(他施設と合同行事)	1
7月	スペシャル Day「食中毒について」	26
8月	焼肉·花火大会	5
9月	大田市障がい者スポーツ大会(他施設と合同行事) スペシャル Day「苦情解決への取り組み」	1 23
11月	スペシャル Day「ほほえみの会との交流会」	24
12月	忘年会(他施設と合同行事)	4
1月	餅つき大会(他施設と合同行事) 初釜 五十猛グロ	6 28 4
2月	出前健康・体力作り講座	12
3月	消防訓練 出前健康・体力作り講座	12 25
合計	16件	235

事 項	内	容
事 項 (3)生活訓練・介護支援	【ふあみり一わ一く】(自立訓練(生) 1. 支援方針 ①自立に向けて、個々の能力に能力の開発並びに意識のの別ででででででででででででででででででででででででででででででででででで	活訓練)事業・生活介護事業)  に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、とに努め、自立を促しました。 別用者は精神面や体力維持を主体に支援し 計画を立案し、それに従った支援を行いま  食時間とする。)  「きの会との交流、地域交流、軽スポーツ、 リ電公園の管理業務に参加の作業訓練を実施 あ為の健康体操を実施 実施 るための健康体操を実施 実施 の等の生産的活動を実施 実施 の等の生産的活動を実施
	<ul><li>○入浴支援を実施</li><li>○料理教室・買い物の訓練を</li><li>○日帰り研修旅行(広島県)を</li></ul>	実施
	や生きがいにつながってい。 ○外出支援で、選挙の期日前 ました。	前投票に出かけ、選挙に参加することができ 師の健康管理により、必要な方に専門医の

事 項 内 容

5. 利用者の主な障がい種別

7/4 L 2 T 201-10 1 E 201							
	精神障がい	知的障がい	身体障がい	その他			
自立訓練	7名	1名	0名	1名			
(生活訓練)	77.8%	11. 1%	0%	11. 1%			
生活介護	14名	2名	1名	1名			
生伯月暖	77.8%	11. 1%	5. 5%	5. 5%			

6. 利用者年齡別構成表(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

						-		
		~29	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
自立	男性	1	1	2	0	0	4	37 歳4月
訓練 (生活	女性	1	2	1	1	0	5	37歳11月
訓練)	計	1	3	3	1	0	9	37歳8月
11.77	男性	0	0	1	4	3	8	58歳11月
生活 介護	女性	0	2	0	3	5	10	55歳8月
71 HZ	計	0	2	1	7	8	18	57歳1月
	男性	1	1	3	4	3	12	51歳8月
合計	女性	1	4	1	4	5	15	49歳9月
	計	2	5	4	8	8	27	50歳7月

7. 利用年数(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

		0. 5年 未満	1年 未満	3年 未満	3年 以上	合計	平均年数
自立	男性	2	0	2	0	4	1年5月
訓練 (生活	女性	0	3	2	0	5	1年3月
訓練)	合計	2	3	4	0	9	1年4月
44.77	男性	0	0	4	4	8	2年 11 月
生活介護	女性	2	1	3	4	10	2年2月
71 hX	合計	2	1	7	8	18	2年6月
合	計	4	4	11	8	27	2年1月

8. 利用者手帳所持者数(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

		精神 1級	精神 2 級	精神 3 級	療育 A	療育 B	身体	不明	合計
自立	男性	1	2	1	0	0	0	0	4
訓練(生活	女性	1	1	1	0	1	0	1	5
訓練)	計	2	3	2	0	1	0	0	9
	男性	0	5	1	0	1	1	0	8
生活介護	女性	4	3	1	0	1	0	1	10
71 HZ	計	4	8	2	0	2	1	1	18
合	計	6	11	4	0	3	1	1	27

事項			内			容		
	9. 平均利		=u(사/ <del>- +</del> - **				( <u>)</u>	
	1) 目 江 訓	練(生活  	Ι	1	7.0		(単位:人)	l
	224 All4 H 284	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	営業日数	22日	22日	21日	23日	20日	20日	
	登録者数	10	9	8	7	8	8	
	利用者数	131	154	136	125	102	94	
	1日当り 利用者数	6. 0	7. 0	6. 5	5. 4	5. 1	4. 7	
	定員数	6	6	6	6	6	6	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	営業日数	23日	21日	21日	20日	20日	21日	21. 2日
	登録者数	8	9	8	8	8	9	8. 3
	延べ 利用者数	95	107	108	106	88	79	110
	1日当り 利用者数	4. 1	5. 1	5. 1	5. 3	4. 4	3. 8	5. 2
	定員数	6	6	6	6	6	6	6
	2)生活介	で護事業				(単位	立:人)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	営業日数	22日	22日	21日	23日	20日	20日	
	登録者数	18	18	19	19	19	19	
	延べ 利用者数	274	271	284	322	286	297	
	1日当り 利用者数	12. 5	12. 3	13. 5	14. 0	14. 3	14. 9	
	定員数	14	14	14	14	14	14	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	営業日数	23日	21日	21日	20日	20日	21日	21. 2日
	登録者数	19	19	16	17	17	18	18. 1
	延べ 利用者数	338	285	276	267	261	287	287
	1日当り 利用者数	14. 7	13. 6	13. 1	13. 4	13. 1	13. 7	13. 6
	定員数	14	14	14	14	14	14	14

事	項	内	容	

#### 10. 利用者推移

1)利用者推移表

(単位:人)

	年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
自立訓練 (生活訓練)	8	5	4	9
生活介護	18	4	4	18
合計	26	9	8	27

#### 2) 退所者の行先

	退所後の様子
自立訓練(生活訓練)事業	自宅(3名)、生活介護(1名)
生活介護事業	精神科デイケア(1名)、入院(2名)、自宅(1名)

#### (4)訓練等支援

#### 【**亀の子工房**】(就労継続支援 B 型事業)

#### 1. 支援方針

- ①自立に向けて、個々の能力に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、 能力の開発並びに意識の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がいが重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援しました
- ③3障がい者(精神・知的・身体)を、障がいの程度に沿った支援を行いました。

#### 2. 作業時間

 $9:00 \sim 16:00$ 

(原則的に12:00~13:00を昼食時間とする。)

- 3. 事業実施内容及び成果
  - 1)豆腐工房·給食工房
    - ・学校給食と連携して地産地消に取り組み、カット野菜の納品を始めました。
    - ・市役所での販売を実施しました。
    - ・保冷車を使用し販売範囲や納品先範囲が広がりました。
  - 2)印刷工房
    - ・印刷工房の作業を通して「自分で考える癖」「自ら積極的に作業に取り組む」事を身に付けられ2人就職出来ました。
    - ・登録メンバーの就職に伴い、人員が減り作業が間々ならない時もありましたが、メンバーと職員が一体になり、「報告・連絡・相談」の声を掛け合いながら責任を持って注文いただいた作業をやり通す事ができました。

事	項		内容		
		4. 研修 1)「ふぁみ	ょりーわーく」との合同研修会を下記のとおり。	実施しました	-0
		日付	内容	亀の子 工房	ふぁみりー わーく
		4/20	秋元紀子さんによる語りべ鑑賞(DVD)	18	14
		5/18	軽スポーツを楽しもう	18	12

自分の考え方のくせを知ろう

亀の子レンジャー準備

長久探検ウォーク

新年の抱負

今年の川柳を読もう

友達の良い所探し

各部門で頑張っていることを発表

防災センター引越し・DVD 鑑賞

亀の子祭イベント案・今後の行事予定に

# 2)研修旅行

6/15

7/13

8/17

9/21

11/16

12/21

1/18

2/15

3/15

ついて

実施日	場所	内 容
10/5	広島市	日帰り研修旅行
11/5	出雲市	支援事業所利用者交流会

### 5. 利用者年齡別構成表(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

18

15

17

15

17

16

18

18

16

8

9

10

11

5

9

12

11

8

	~29	30代	40代	50代	60~	計	平均年齢
男性	4	4	5	1	1	15	39 歳3月
女性	1	4	3	2	0	10	41 歳4月
計	5	8	8	3	1	25	40 歳1月

#### 6. 利用者の主な障がい種別(平成26年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
12名	9名	2名	2名
48%	36%	8%	8%

ず 次   行 付	事項	内	容	
-----------	----	---	---	--

#### 7. 利用年数(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	1年 未満	3年 未満	5年 未満	5年 以上	合計	平均年数
男性	4	6	3	2	15	2年7月
女性	4	3	2	1	10	2年1月
計	8	9	5	3	15	2年5月

## 8. 利用者手帳所持者数(平成26年3月31日現在) (単位:人)

	精神 1 級	精神 2 級	精神 3 級	療育 A	療育 B	身体	不明	合計
男性	0	5	0	0	6	2	2	15
女性	0	6	0	0	2	1	1	10
計	0	11	0	0	8	3	3	25

#### 9. 平均利用日数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
営業日数	22日	23日	21日	23日	20日	21日	
登録者数	22	23	23	22	22	22	
延べ 利用者数	407	421	377	411	354	349	
1日当り 利用者数	18. 5	18. 3	18. 0	17. 9	17. 7	16. 6	
定員数	20	20	20	20	20	20	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数	23日	22日	21日	21日	20日	21日	21.5日
登録者数	22	22	23	23	25	25	23
延べ 利用者数	408	363	378	381	391	433	389.4
1日当り 利用者数	17. 7	16. 5	18. 0	18. 1	19. 6	20. 6	18. 1
定員数	20	20	20	20	20	20	20

## 10. 利用者推移

(単位:人)

年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
22(18)	10	3	25

注)()内は、4/1 新規通所者を除いた数字 退所者の行先は、就労(3名)

## 11. 利用者の平均工賃

就労継続支援 B 型 時給 225.5円(前年度225.1円)

12. 行事	*		内	容		
### (日本) (日本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (		12. 行事				
土曜日 全体ミーティング		月日	実施内容			
6/20 ボウリング大会 1 16 8/2 焼肉&花火大会 1 19 8/3 天領さん 1 13 9/6 大田市障がい者スポーツ大会 1 20 9/10 消防訓練 1 16 10/5 宮島日帰り研修旅行 1 17 12/1 障がい者の日啓発事業 1 16 12/5 支援事業所利用者交流会 1 12 12/19 忘年会 1 21 1/8 餅つき大会 1 18 3/18 消防訓練 1 15 注) 一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメン加合計数を記載しています。 13. 防災センター建設 1)建設目的			全体ミーティング	11	16.9	
8/2 焼肉&花火大会 1 19 8/3 天領さん 1 13 9/6 大田市障がい者スポーツ大会 1 20 9/10 消防訓練 1 16 10/5 宮島日帰り研修旅行 1 17 12/1 障がい者の日啓発事業 1 16 12/5 支援事業所利用者交流会 1 12 12/19 忘年会 1 21 1/8 餅つき大会 1 18 3/18 消防訓練 1 15 注) 一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメン加合計数を記載しています。 13. 防災センター建設 1)建設目的		4/4	花見	1	17	
8/3 天領さん 1 13 9/6 大田市障がい者スポーツ大会 1 20 9/10 消防訓練 1 16 10/5 宮島日帰り研修旅行 1 17 12/1 障がい者の日啓発事業 1 16 12/5 支援事業所利用者交流会 1 12 12/19 忘年会 1 21 1/8 餅つき大会 1 18 3/18 消防訓練 1 15 注) 一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメン加合計数を記載しています。 13. 防災センター建設 1)建設目的		6/20	ボウリング大会	1	16	
9/6 大田市障がい者スポーツ大会 1 20 9/10 消防訓練 1 16 10/5 宮島日帰り研修旅行 1 17 12/1 障がい者の日啓発事業 1 16 12/5 支援事業所利用者交流会 1 12 12/19 忘年会 1 21 1/8 餅つき大会 1 18 3/18 消防訓練 1 15 注) 一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメンルか合計数を記載しています。 13. 防災センター建設 1)建設目的		8/2	焼肉&花火大会	1	19	
9/10 消防訓練 1 16 10/5 宮島日帰り研修旅行 1 17 12/1 障がい者の日啓発事業 1 16 12/5 支援事業所利用者交流会 1 12 12/19 忘年会 1 21 1/8 餅つき大会 1 18 3/18 消防訓練 1 15 注) 一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメンカカ合計数を記載しています。 13. 防災センター建設 1)建設目的		8/3	天領さん	1	13	
10/5   宮島日帰り研修旅行   1   17   12/1   障がい者の日啓発事業   1   16   12/5   支援事業所利用者交流会   1   12   12/19   忘年会   1   21   1/8   餅つき大会   1   18   3/18   消防訓練   1   15   15   15   一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメンカカ合計数を記載しています。		9/6	大田市障がい者スポーツ大会	1	20	
12/1   障がい者の日啓発事業   1   16   12/5   支援事業所利用者交流会   1   12   12/19   忘年会   1   21   1/8   餅つき大会   1   18   3/18   消防訓練   1   15   15   一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメンルの合計数を記載しています。   13. 防災センター建設   1)建設目的		9/10	消防訓練	1	16	
12/5 支援事業所利用者交流会		10/5	宮島日帰り研修旅行	1	17	
12/19     忘年会     1     21       1/8     餅つき大会     1     18       3/18     消防訓練     1     15       注) 一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメン加合計数を記載しています。       13. 防災センター建設 1)建設目的		12/1	障がい者の日啓発事業	1	16	
1/8 餅つき大会 1 18 3/18 消防訓練 1 15 注)一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメン加合計数を記載しています。 13. 防災センター建設 1)建設目的		12/5	支援事業所利用者交流会	1	12	
3/18 消防訓練 1 15 注) 一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメン加合計数を記載しています。 13. 防災センター建設 1)建設目的		12/19	忘年会	1	21	
注)一回あたりの参加人数は、全参加者数ではなく亀の子工房のメン加合計数を記載しています。  13. 防災センター建設 1)建設目的		1/8	餅つき大会	1	18	
加合計数を記載しています。  13. 防災センター建設 1)建設目的		3/18	消防訓練	1	15	
所では生活スペースを確保することや福祉サービスの提供を受け わめて困難になることが多い。そこで、障がい者等のサービス提供 専門的能力を有する障がい福祉サービス事業所において、被災 等の受入れが可能となる設備等を備えた防災拠点スペースを設置 時における障がい者等のサービス確保に資することを目的とする。 上記目的のために、30人程度が避難生活するための防災セン		13. 防災セン 1)建設目 災害! 所ではな わめてE 専門的 等の受力	クー建設 的 時における障がい者等は、体育館等 生活スペースを確保することや福祉・ 困難になることが多い。そこで、障が 能力を有する障がい福祉サービス 入れが可能となる設備等を備えた防 ける障がい者等のサービス確保に資	サービス <i>0</i> い者等の 事業所に 災拠点ス することを	)提供を受け サービス提供 おいて、被災 ペースを設 ・目的とする。	けることだ 共に関し 経障がい 置し、災

会社神門組との随意契約を結んだ。

②契約 建 築: 神門組 72,000,000円(消費税等別) 設計・監理: 渡邊建築工房 2,000,000円(消費税等込)

- ③工期 着工 平成25年8月 5日 竣工 平成26年2月25日
- ④補助金 島根県補助金 26,700,000円 大田市補助金 4,450,000円
- 3)竣工祝賀式 平成26年3月10日

事項	内	容			
(5)福祉的就労支援	援を行い、社会人として 他の便宜を適切かつ効果	を通じ、就労することの喜びや厳しさを得るように支 の必要な知識及び能力の向上のための訓練その 果的に支援します。 に質の高いサービスを提供するとともに顧客満足の			
	3. 利用者の賃金				
	①時給664円(H26年3月	現在)			
	②従業員月額平均賃金	53, 196円			
	4. 活動の報告				
	①新規従業員を5名雇用いたしました。(退職1名)				
	②個別支援計画に基づいた就労の提供・支援を行いました。				
	③従業員の生活支援・健康	東管理・就労支援を行いました			
	④就労能力向上の研修会	に参加いたしました。			
	⑤年間売上目標達成に向	けて、企画・営業・広報活動を行いました。			
	⑥職場実習の受け入れ・征	<b>逆業員の研修会を行いました。</b>			
	⑦地域行事への参加、及	び法人内の行事・研修に参加いたしました。			
	部門別				
	部門名	内容			
	配食サービス	介護保険認定者等及びデイサービス利用者 への普通食や治療食の配食サービスを実施 しました。また、出雲養護学校仁摩分教室へ の給食を提供しました。また、家族への安否確 認のメールサービスを実施いたしました。			
	天然酵母 pole pole	パン・焼き菓子の製造販売を行ないました。また、新商品の開発、新規販売先を開拓しました。			
	介護予防サロン	利用者への介護予防プログラム・生きがいづくり支援を中心に行いました。また利用者ごとの個別ケアに取り組みました。			
		VI. 1 ~ 10 * 7 . (00* )% 10 14 * 10 . (1.) - 2 - 1			

施設外就労

法人の児童及び障がい児施設内において

就労支援を行いました。

事 項 内 容

5. 部門別利用者表(H26年3月31日現在) (単位:人)

部門	男性	女性	計
給食・配食サービス	6	0	6
天然酵母 pole pole	0	3	3
介護予防サロン	3	3	6
施設外就労	3	0	3
<b>1</b>	12	6	18

6. 部門別加入保険状況表(H26年3月31日現在) (単位:人)

	加入保険		計
	雇用保険	社会保険	ПI
配食サービス	6	2	6(2)
天然酵母 pole pole	0	0	0
介護予防サロン	5	0	5
施設外就労	1	0	1
合 計	12	2	12(2)

7. 利用者の主な障がい種別(平成26年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
13名	4名	0名	1名
72%	22%	0%	6%

8. 利用者年齡別構成表(平成26年3月31日現在) (単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代~	計
男性	О	1	4	4	3	12
女性	0	2	3	0	1	6
合計	0	3	7	4	4	18

9. 利用者手帳所持者数 (平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	1級	2級	3級	療育	なし	合計
男性	0	5	4	3	0	12
女性	0	4	0	1	1	6
合計	0	9	4	4	1	18

事 項	内容
	10. 職場実習件数 0件(希望なし)
	11.職場実習受け入れ件数 8件 出雲養護学校 4人、石見養護学校 1人、福祉施設 2人、その他 1人
	12.従業員支援 個別支援計画に基づき、自己決定を尊重しながら働くことの厳しさや意識を もってもらえるよう就労支援を致しました。生活支援については、家族や相談 支援事業所等との連携を行いました。また就労に際し医療が必要な場合等は 同行受診や家庭訪問も行いました。一般就労支援においては、就業・生活支 援センター等との連携も実施いたしました。
(6)就労支援	【ジョブ亀の子】(障がい者就業・生活支援センター)
	1. 目的
	2. 事業の内容 ①障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行いました。 ②事業主に対して障がい者の就職後の雇用管理に係る助言等を行いました。 ③障がい者に対して障害者職業センター、事業主により行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについて斡旋を行いました。 ④障がい者の雇用の場、職場実習の場を広げる活動を行いました。 ⑤障がい者の就職後の職場定着支援を実施しました。 ⑥県、市町村、公共職業安定所、障害者職業センター等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの関係機関との連携を図りました。 ⑦在職者のための交流会「パキラ」を年4回(6月、8月、12月、3月)開催しました。 ⑧上田市自立支援連絡会就労支援部会の取り組みに協力しました。 ⑨上南町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。 ⑩島根県障がい者就労支援ネットワーク構築事業を受託し実施しました。 ⑪島根県より障がい者チャレンジ事業を受託し、職場実習の拡大を行いました。 ⑫島根県より障がい者雇用促進支援員配置業務を受託し、事業所開拓を行いました。

事 項 内 容

#### 3. 支援対象障がい者の状況

1)登録状況

(単位:人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
在職者	8	53	27	9	97
求職者	6	32	31	6	75
その他	0	0	7	0	7
合 計	14	85	65	15	179

## 4. 障がい者に対する支援の実施状況

1) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数(手段別) (単位:件)

ジョブ亀の子への来所	887
電話・メール	1, 762
職場訪問	428
家庭・施設への訪問	272
その他	292
습 計	3, 641

## 2) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数(内容別)

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
就職に向けた相談や 支援	58	429	444	134	1,065
職場定着に向けた相 談・支援	152	579	579	128	1,438
日常生活・社会生活 に関する相談・支援	27	297	316	80	720
就業と生活の両方に わたる相談・支援	42	170	174	32	418
合 計	279	1,475	1,513	374	3,641

## 3) 支援対象障がい者の就職件数

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
一般 (30 時間以上)	1	6	3	0	10
短時間(20時間以上 30時間未満)	О	6	2	4	12
短時間 (20 時間未満)	0	0	3	0	3
合 計	1	12	8	4	25

4)支援対象障がい者の実習件数 (単位:件)			項	事	
	:件)	4			
身体障がい 知的障がい 精神障がい その他 合 計	計				
3日以上の 実習 4 24 19 7 54	4				

- 5. 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況
  - 1)相談・支援を行った事業所数・・・・85事業所
  - 2)相談·支援件数(手段別)

(単位:件)

ジョブ亀の子への来所	22		
電話・メール	181		
企業訪問	577		
その他	10		
合 計	790		

- 6. 障がい者就業・生活支援センター事業連絡会議
  - 1)第1回連絡会議開催・・・平成25年7月12日(金) 於:あすてらす 参加:30機関 40名
- 2) 第2回連絡会議開催・・・平成26年2月27日(木) 於:あすてらす 参加:35機関 39名
- 7. 職場定着促進のための在職者の交流会「パキラ」
  - 1) 第1回開催…平成25年6月23日(日)

浜田障害者就業・生活支援センターレントと交流 参加:20名

2) 第2回開催・・・平成25年8月24日(土) ソフトバレー

集中豪雨のため中止

3) 第3回開催…平成25年12月21日(土)

出雲障害者就業・生活支援センターリーフと交流

参加:10名

4) 第4回開催…平成26年3月21日(金)

今年度の振り返り

参加:11名

- 8. ネットワーク構築事業
  - 1)「障がい者雇用促進研修会」

日 時:平成25年10月25日(金)14:00~16:00

会 場:大田商工会議所

内 容:講演

参加者:13企業(17名)、12機関(14名) 計31名

2)「障がい者一般就労体験発表」

日 時:平成26年1月29日(水)14:00~16:00

会場:大田市民センター

内 容:事業主、在職障がい者による体験発表

参加者:76名

事項内容	(7) 付まいの支援 【 <b>クートルホー / 】</b> (サ <b>ロルチ授助東業)</b>	
	事 項 内 容	

## (7)住まいの支援 **|【タートルホーム】**(共同生活援助事業)

## 1. 基本方針

①サービス利用計画書に従い、利用者の自己自立の促進を促します。 ②将来は一般アパートに入居できるよう、生活支援をしていきます。

#### 2. 入居状况推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
10名	10名	2名	2名	10名

退所者の行き先は、自宅へ1名、民間アパートへ1名

#### 3. 入居者構成表(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	~29	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢
男性	1	1	2	1	0	5	40歳11月
女性	0	0	1	2	2	5	55歳3月
合計	1	1	3	3	2	10	48歳1月

#### 4. 入居年数(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	1年 未満	3年 未満	5年 未満	5年 以上	合計	平均年数
男性	0	3	1	1	5	3年5月
女性	2	1	1	1	5	2年6月
合計	2	4	2	2	10	2年11月

注)入居年数は、共同生活援助事業になってからの年数です。

## 5. 利用者の主な障がい種別 (平成26年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
6名	2名	0名	2名
60%	20%	0%	20%

#### 6. 福祉サービス利用先等

(単位:人)

一般	亀の子工房	ふぁみりー	合 計	
就労	电沙丁工历	自立訓練生		ПП
1	3	1	5	10

#### 7. その他

- ○利用者の要望で、買い物支援や墓参り支援を実施しました。
- ○服薬確認や家族・病院との連携に務めました。
- ○毎月全員でミーティングを実施しました。

## 【コーポ亀の子Ⅱ】(共同生活援助事業)

#### 1. 基本方針

住まいの場の提供を図り、それぞれが快適に、自分らしく生活できるように、自己自立を図るように、住まいの提供とともに、必要な生活支援をしています。

#### 2. 入居状况推移表

(単位:人)

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
5	5	0名	0名	5

#### 3. 入居者構成表(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢
男性	0	0	1	2	0	3	51 歳 9 月
女性	0	2	0	0	0	2	33 歳 0 月
合計	0	2	1	2	0	5	44 歳 3 月

#### 4. 入居年数(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	1年 未満	3年 未満	5年 未満	5年 以上	合計	平均年数
男性	0	2	0	1	3	4年3月
女性	0	0	0	2	2	6年10月
合計	0	2	0	3	5	5年3月

注)入居年数は、共同生活援助事業になってからの年数です。

#### 5. 利用者の主な障がい種別

(平成26年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
5名	0名	0名	0名
100%	0%	0%	0%

#### 6. 福祉サービス利用先等

(単位:人)

一般就労	遊亀館	ふぁみりー わーく	合 計
2	2	1	5

#### 7. その他

- ○毎月1回、全体ミーティング(生活状況等)をおこないました。
- ○部屋の片付けが出来にくい人の部屋の掃除を一緒に実施しました。
- ○緊急時(精神的不安定)に訪問を行いました。
- ○体調の悪い人の食事を用意しました。

## 【コーポ亀の子Ⅲ】(共同生活援助事業)

#### 1. 基本方針

住まいの場の提供を図り、それぞれが快適に、自分らしく生活できるよ うに、自己自立を図るように、住まいの提供とともに、必要な生活支援をし ています。

#### 2. 入居状況推移表

(単位:人)

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
4名	4名	0名	0名	4名

退所者の行き先は、自宅へ1名・民間アパートへ1名

#### 3. 入居者構成表(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60 以上	計	平均年齢
男性	0	0	1	0	1	2	63 歳 2 月
女性	0	0	0	2	0	2	56 歳 8 月
合計	0	0	1	2	1	4	59歳11月

#### 4. 入居年数(平成26年3月31日現在)

(単位:人)

	1年 未満	3年 未満	5年 未満	5年 以上	合計	平均年数
男性	0	1	1	0	2	2年6月
女性	0	1	1	0	2	2年7月
合計	0	2	2	0	4	2年6月

#### 5. 利用者の主な障がい種別 (平成26年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
4名	0名	0名	0名
100%	0%	0%	0%

#### 6. 福祉サービス利用先等

(単位:人)

一般就労	遊亀館	亀の子工房	ふぁみりーわーく	合 計
0	0	2	2	4

#### 7. その他

- ○毎月1回、全体ミーティング(生活状況等)をおこないました。
- ○部屋の片付けができにくい人の部屋掃除を一緒に行いました。
- ○体調の悪い人の食事の用意を行いました。

(8) 高齢者支援  【亀の子デイサービス】(通所介護・介護予防通所介護)  1. 基本方針  ①事業所の指定通所介護者は、利用者の意思及び人格を尊重し、者の立場に立った指定通所介護の提供に努めるものとする。 ②指定通所介護の提供に当たっては、関連市町村、居宅介護支援の他地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図りながら用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて適う。特に認知症状態にある利用者に対しては、必要に応じ、その特したサービスの提供ができるよう体制を整える。 ③前項の規程に基づき、提供した指定通所介護については、常にそ価を行い、その改善を図るものとする。  2. 職員体制(平成26年3月31日現在)管理者1名、生活相談員2名、看護職員兼機能訓練指導員2名、介護職3事業内容 ①食事の提供②生活等に関する相談の助言 ③健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の世話④集団及び個別対応の機能訓練 ⑤年間プログラムによるレクリエーション活動、創作活動⑥通所介護計画(介護予防通所計画)による個別の支援⑦入浴サービス  4. 実施事業 ①個別計画(機能訓練)の充実を図りました。②デイだよりの発行を行いました。 ③生きがいづくりの充実を図りました。(音楽教室など)④各事業所との連携を推進しました。(音楽教室など)④各事業所との連携を推進しました。(音楽教室など)④各事業所との連携を推進しました。(音楽教室など)④各事業所との連携を推進しました。	事 項		内			容		
管理者1名、生活相談員2名、看護職員兼機能訓練指導員2名、介護職3.事業内容 ①食事の提供 ②生活等に関する相談の助言 ③健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の世話 ④集団及び個別対応の機能訓練 ⑤年間プログラムによるレクリエーション活動、創作活動 ⑥通所介護計画(介護予防通所計画)による個別の支援 ⑦入浴サービス  4. 実施事業 ①個別計画(機能訓練)の充実を図りました。 ②デイだよりの発行を行いました。 ③生きがいづくりの充実を図りました。(音楽教室など) ④各事業所との連携を推進しました。 ⑤避難訓練や消防訓練を実施いたしました。	8) 高齢者支援	1. 基本方針 ①事業所の指定者の立場に立つ指定通所介護の他地域の保用者の心身のう。特に認知がしたサービスの	ビス』(通所介 運所介護者に った指定通所 で提供に当った。 は・医療・福 が、希望及 に状態にあるる の提供ができる。 基づき、提供	は、利用 介護の とサーレ がその が が が が が が が が が が が が が が が が が が	者の意思 提供に第4 、関連市町 ごみとの密え 対しては、 対しを整える。 ご通所介護	<b>行介護</b> ) 及び人格 かるものと 打村、居宅 安な環境を 必要に応	する。 E介護支援 E図りながら 踏まえて遊 だ、その特	事業所 の、常に が切に行
4. 実施事業 ①個別計画(機能訓練)の充実を図りました。 ②デイだよりの発行を行いました。 ③生きがいづくりの充実を図りました。(音楽教室など) ④各事業所との連携を推進しました。 ⑤避難訓練や消防訓練を実施いたしました。		管理者 1 名、生活 3.事業内容 ①食事の提供 ②生活等に関う ③健康状態の研 ④集団及び個別 ⑤年間プログラ ⑥通所介護計画	活相談員 2 名、 する相談の助 確認、その他和 別対応の機能 ムによるレクリ 画(介護予防)	看護職員 言 川用者に 訓練 エーショ	工必要な日ョン活動、倉	常生活上的	の世話	<b>殺員6名</b>
		①個別計画(機 ②デイだよりの) ③生きがいづく ④各事業所との ⑤避難訓練や	発行を行いま りの充実を図 )連携を推進し 消防訓練を実	した。 0ました。 いました。	(音楽教室	室など)		
5. デイサービス利用者述べ人数(H25年4月~H26年3月)定員実人数延べ人数ー日当たりの利用人数15名351人2,542人10.46人		定員	実人数	延	べ人数	一日当た	-りの利用人数	7

	要支援 1	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護	要介護 4,5	計
男性	162	2	24	61	10	0	259
女性	561	367	613	428	278	36	2,283
計	723	369	637	489	288	36	2,542

事 項				内			容			
9)子ども支援	【たから	保育園	](認可	保育所)						
	21 21 3	子どもの きるような 縦割りの うにしまっ 家庭的な	な保育を )中で子 す。 な雰囲気	係を大切に します。 どもたち同 で中でゆうを大切に	一士のつ	つながり :過ごせ	や、思い るようにし	やりの気 ます。	持ちが	
	Ot	協調性•	に健康 自主性(	で心豊かた のある明る よく考え・1	い子ど	t	`t			
	2)延	育時間長保育	土曜日月~土	☆曜日 ∃ (午後は ニ曜日 (有料 ニ曜日 (有料	斗)	育) 7 19		8:30		
	4. 職員	]構成							(単位	立:人)
	園長	副園長	主任	保育士	非常勤	栄養士	調理員	看鰤	嘱惩	計
	1	1	1	6	7	1	1	1	2	21
	注)嘱託	医:やま	うち内和	斗 山内院	長	属託歯和	斗:フジタ	歯科 藤	田院長	<u> </u>
	5. 保育									
	1)通 0歳児	常保育	(平成26 2歳児	3歳児 3歳児	4歳	計	5歳児		(単位	½:人) 保育
	びしゃもん	_	と成りしてん組	ほてい組	えび	-	だいこく組	合語	+	定員
	11		12	3		3	1	30	)	50
	3)延	長保育平成25年時保育	年度・・・ 事業 年度・・・	業 ·1名(診断 ·262名(延						

事 項	P	勺	容	
	6. 保育園行事		I	
	行事	実施日	場所	参加者
	開園·入園式	4月1日	たから保育園	入園児22名·保護 者·来賓
	礼拝	9回実施	瑞応寺	主に2~5歳児、 全園児は2回
	誕生会	毎月実施	たから保育園	全園児
	お茶のおけいこ	6回実施	たから保育園	3~5歳児
	散歩遠足	6回実施	保育園近辺	全園児
	花まつり	4月30日	たから保育園	全園児・相愛保育園5 5名・亀の子デイサー ビス・ふぁみりーわーく からも参加あり
	七夕会	7月5日	たから保育園	園児22名
	合同焼肉·花火大会	8月2日	亀の子	園児22名・ 保護者34名
	親子遠足	9月20日	サヒメル	園児24名 保護者26名
	運動会	10月19日	たから保育園	園児28名 保護者98名
	ハロウィン	10月31日	法人内	園児26名
	保育参観	11月6日~22日	たから保育園	園児 保護者25名
	餅つき会	12月20日	たから保育園	園児28名・かめっ子 クラブスタッフ
	クリスマス会	12月25日	たから保育園	園児29名· 未就園児2名
	雪遊び	1月24日	三瓶	4·5歳児4名 職員2名
	節分会	2月3日	たから保育園	園児23名
	節分祭	2月3日	物部神社	園児7名・ふぁみりー わーく・職員2名
	お楽しみ会	2月8日	たから保育園	園児21名 保護者45名
	ひな祭り会	3月3日	たから保育園	園児27名
	お別れ会	3月14日	たから保育園	園児28名
	お別れ遠足	3月17日	瑞応寺	全園児
	卒園式·親子茶会	3月31日	たから保育園	卒園児1名・ 在園児12名・保護者 7名・来賓3名

事項	容
----	---

行事	実施日	場所	参加者
身体測定	毎月実施	たから保育園	
歯科検診	6月	たから保育園	
内科検診	11月・3月	たから保育園	
防災•避難訓練	毎月実施	たから保育園	
クッキング	毎月実施 (7~9月を除く)	たから保育園	

- ○礼拝は、バスで行けるので子どもたちも楽しみにしていた。
- ○各行事も保護者参加がたくさんあり、協力してもらえたことによりスムーズ に進行できた。
- ○お茶のおけいこは回数的にも丁度良かった。
- ○活動内容や、保護者の参加しやすい行事日程を考えて行く必要がある。

#### 7. 地域活動事業

## 1)世代間交流

開催日	内容
5月14日	地域活動支援センターのほほんのお茶会参加
5月16日	ふぁみりーわーく利用者と野菜の苗植え
5月13日	亀の子デイサービスとの交流
5月21日	遊亀館 パン工房にてパン作り
7月3日	ふぁみりーわーく利用者とジャガイモ掘り
7月22日	かめっ子クラブとサヒメル見学
9月13日	亀の子デイサービスの敬老会参加
10月3日	ふぁみりーわーく利用者とさつまいも掘り
2月3日	ふぁみり一わ一く利用者と物部神社節分祭

## 2) 異年齢児交流

開催日	内容
4月25日	新入園児歓迎会
7月7日	七夕会
9月20日	親子遠足
10月19日	運動会
12月25日	クリスマス会
3月3日	ひな祭り会

事 項	内	容

開催日	内容
3月14日	お別れ会
3月17日	お別れ遠足

#### 3) 地域交流

開催日	内容	
4月30日	花まつり	
8月2日	亀の子合同焼肉花火大会	
8月23日	梨狩り	
9月24日	栗拾い	
10月31日	ハロウィン	
12月20日	餅つき会	

#### 4)子育て講座

開催日	内容
11月6日~22日	保育参観

## 【かめっ子クラブ】(放課後等デイサービス事業)

#### 1. 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

#### 2. 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

#### 3. 開所日

月~土曜日 (但し、祝祭日及び年末年始(12/30~1/3)・お盆(8/13~15)を除く)

#### 4. 開所時間

平日午後2時00分~午後6時00分学校休業日午前8時30分~午後4時30分(土曜日・夏休み等)(但し、午後6時までの延長支援可)

事	頁	内		
			、田市全域 J・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・ 町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩	

6. 利用定員 10名

#### 7. 行事

開催月	内容
4月	お花見・マジックショー
5月	三瓶散策・さつまいもの苗植え・田植え
6月	まき団子作り・虫歯予防デー
7月	七夕会・そうめん流し・プール遊び
8月	海水浴・夏祭り・食育ボランティアとの交流・陶芸・染物
9月	稲刈り・三瓶散策・敬老会・うさぎの会との交流会
10月	芋掘り・ミニ運動会・秋祭り
11月	しいのみ&どんぐり拾い・創作展示会・遠足
12月	クリスマス会・大掃除
1月	初詣・書き初め・正月遊び(凧揚げ・コマ回し)
2月	節分・バレンタインデー
3月	ひな祭り・ホワイトデー・お別れ会・食育ボランティアとの交流

#### 8. 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室・島根県西部発達障がい者支援センターウインドなど関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②「うさぎの会」(精神保健福祉ボランティア)・「おむすびの会」(食育ボランティア)のボランティアの方々に来ていただき、地域の方との交流ができました。
- ③鳥取県立総合療育センターの北原佶シニアディレクターに来ていただき、 障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

事 項			内			容		
	9. 平均利月	 用日数				(	(単位:人)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	営業日数	25日	24日	25日	26日	24日	23日	
	利用児数	9	10	11	13	15	13	
	延べ 利用児数	121	151	157	211	206	175	
	1日当り 利用児数	4. 8	6. 3	6. 3	8. 1	8. 6	7. 6	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	営業日数	26日	24日	23日	23日	23日	25日	24.2日
	利用児数	13	13	13	13	13	14	12. 5
	延べ 利用児数	205	199	196	174	191	213	183
	1日当り 利用児数	7. 9	8. 3	8. 5	7. 6	8. 3	8. 5	7. 6
		大		4、右しくは 名 名	は参加しまし	実施日		加人数
		流そう会				年間15	5回 2	205
	i障害者ス	ポーツ大会	<del></del>		9/6		19	
	ボウリン	/グ大会				6/20	)	16
(11)給食	(表)							

事	項	内	容
(12)メンバ 家族と	い連携	活や社会的自立を促進するために、家いことであり、互いの連携を密にし、信にのため、各種行事の参加要請、研おります。また、機関紙等を利用して連	修会の開催等を行い理解と協力を求めて 携に努めました。 のほほん職員が担当し、家族の支援を行
(13)地域福祉との連携			策の実行をおこないました。 うさぎの会等)

⑤精神保健福祉の体験学習の場の提供

## 1. 施設見学者·視察研修者

日付	来 所 者	人数
6/3	石見高等看護学院	14
6/10	石見養護学校中学部2年生·教員	4
6/17	石見高等看護学院	13
7/8	石見高等看護学院	14
7/9	出雲養護学校邇摩分教室2年生·教員	6
8/22	出雲養護学校高等部教員見学	8
10/8	出雲養護学校邇摩分教室1年生·教員	5
î	·   計	64

## 2. 体験等実習

日付	来 所 者	人数
6/3~14	出雲養護学校邇摩分教室3年生(亀の子工房)	1
6/3~7	石見養護学校生(遊亀館)	1
6/18	石見高等看護学院生(亀の子工房・ふぁみりーわーく)	6
6/19	石見高等看護学院生(亀の子工房・ふぁみりーわーく)	7
7/1	石見高等看護学院生(亀の子工房・ふぁみりーわーく)	6
7/2	石見高等看護学院生(亀の子工房・ふぁみりーわーく)	6

事 項		内容	
	日付	来 所 者	人数
	7/11		3
	·		
	7/23	石見高等看護学院生(亀の子工房・ふぁみりーわーく)	7
	7/24	石見高等看護学院生(亀の子工房・ふぁみりーわーく)	6
	8/21~23	大田二中生2年生(亀の子工房)	3
	9/5~27	広島医療保健専門学校生(亀の子工房・ふぁみりーわーく)	1
	10/21~11/1	出雲養護学校邇摩分教室3年生(亀の子工房)	1
	10/24~11/1	出雲養護学校邇摩分教室2年生(遊亀館)	1
	11/12~13	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校生 (亀の子工房)	2
	11/18~22	出雲養護学校生(遊亀館)	1
	12/2~6	江津清和養護学校高等部1年生(亀の子工房)	1
	12/9~13	出雲養護学校邇摩分教室3年生(亀の子デイ)	1
	1/20~24	出雲養護学校高等部1年生(亀の子工房)	1
	1/20~24	出雲養護学校高等部1年生(遊亀館)	1
		合 計	56

## (14)諸会議

施設の円滑な運営を図り支援の向上と職員の士気高揚を図るために、次の会議を開催しました。

## 1. 連絡会議

構成	全職員
目的	メンバーの日々の状況把握と適切なサポートに心がけるため。
開催日	毎日の朝礼・終礼

## 2. 職員会議

村	構 成	各部門の職員						
Ē	目的	施設内の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。 授産科目の収支報告及び作業報酬についての検討等。						
	亀の子工房 4/5 5/10 6/7 7/11 8/8 9						9/6	
開	センター	10/4	11/8	12/6	1/10	2/5	3/5	
催	遊亀館	4/23	5/21	6/18	7/16	8/27	9/17	
	四电路	10/22	11/19	12/17	1/21	2/18	3/18	

事項			内						
	3. 全体	3. 全体職員会議							
	<u> </u>	構 成	全職員						
		1滑に推進 こ職員相互 등等につい	の理解と						
		開 催	4/26	5/27	6/25	7/26	8/29	9/24	
		刀 [任	10/28	11/25	12/26	1/24	2/27	3/25	
	4. 役職	会議							
	1	構 成	役職員(3	理事長・施	設長·館長	•事務長)			
		目的		連絡、調整を図る		人•施設業	務が円滑	に推進で	
		開 催	4/15	5/23	6/18	7/17	8/19	9/17	
		· 1	10/21	11/18	12/17	1/20	2/17	3/19	
	てか 完識 1.* ① 保職ま(1) (3) (3)	施設の主体者はメンバーです。常にメンバーの人権を尊重し豊かな感性を持ち、相手の立場に立った、よき理解者として心がけました。組織の一員として、また専門職としての自覚の下に、信頼を得るよう努めました。かつ、職務分掌に基づき速やかに職務を遂行するよう務めました。一方、施設の効率的運営に留意、協力すると共に常に問題意識をもち、研究心を忘れないようにしました。更に、地域社会にあっては、施設の役割を認識し積極的に交流しました。  1. 職員の役割 *基本理念 ①基本的人権の尊重 ②職務及び利用者に関する守秘義務を果たす。  2. 保健衛生 職員は健康管理には十分留意した生活を行いました。また年1回検診(下記(1)・(2))を行いました。(1) 内科検診・X線間接・体重・血圧測定・検尿・視力検査・聴力検査(2) 35歳以上の職員については、(1)の検査に加えて次の検査も行いました。①血液検査②心電図③胃検査(3) 月1回検便(腸内細菌検査)を実施しました。 亀の子工房(豆腐工房・給食工房の利用者及び職員) 遊亀館(配食サービス・天然酵母 pole pole の従業員及び職員)							
	3. 勤務 「就業規則」及び「労働基準法」を基本とする。								

	_							
事	項	内		容				
(16)非常; 対策		「亀の子消防計画」、「自衛消防組織」及び「緊急連絡網」の周知、徹底を全職員に図ります。また、災害の防止及び備えについて知識の普及と平常の訓練の充実を図りました。  1. 予防と知識の普及 各室に火気取り締まり責任者をおき、点検を行うとともに、年1回の自主点検及び職員とメンバーに消火器取り扱い訓練を行いました。						
		メンバー及び職員の喫煙につい						
		2. 避難訓練 (1)内 容 : 総合訓練や避難訓練を行い、迅速な避難誘導の習慣化を図りました。						
		(2)開催日: (総合訓練) 9月10日 (避難訓練) 3月18日 (夜間避難訓練)3月17日(タートルホーム)						
		3. 事故防止 メンバーの安全を第一に考え、 速やかに改善を行いました。	施設内にお	いて事故が起きそ	うな場所は、			
(17)職員:	<del></del> 教育	1. 施設内研修 ①メンバーの処遇について・専門的 ②法人職員としての接遇についての			いました。			
		研修名	実施月日	対象	参加人数			
		社会人基礎力概論	11/25	全職員	24			
		発達障がい児勉強会	2/25	子ども支援部門 職員	15			
	2. 施設外研修 1) 亀の子サポートセンター							
		研 修 名	実施月	日職種	参加 人数			
		障がい児支援研修会	4/20	管理者 相談支援専門』	3			

研 修 名	実施月日	職種	参加 人数
障がい児支援研修会	4/20	管理者 相談支援専門員	3
NHK ハートフォーラム リハビリ最前線 脳損傷からの回復をめざす	4/27	管理者 相談支援専門員	2
相談支援専門員協会研修会	5/11	管理者 相談支援専門員	3
第5回しまね高次脳機能障害研究会	6/22	管理者 相談支援専門員	3
高次脳機能障害支援事業関係職員研 修会	6/26~28	相談支援専門員	1

項	内		容	
	研修名	実施月日	職種	参加人数
	障がい者サービスコーディネーション研修会	7/2~5	管理者	1
	平成25年度家族支援学習会	7/2	相談支援専門員	1
	発達障がい児研修	8/3	相談支援専門員	1
	島根県高次脳機能障がい者支援研修 会	8/10	相談支援専門員	2
	特別支援による子ども理解で指導・支 援を楽しく	8/16	管理者 相談支援専門員	3
	「発達障がいを理解するための基礎講座」(学齢期・成人期)	8/18	管理者	1
	自閉症スペクトラム支援研修会	9/21	管理者	1
	サービス管理責任者等指導者養成研修 会	9/25~28	相談支援専門員	1
	全国高次脳 CD 研修会&日本脳外傷 友の会全国大会	9/27~28	管理者 相談支援専門員	2
	かかりつけ医うつ病等対応力向上研修	10/3	管理者 相談支援専門員	3
	発達障がい児実践研修	10/22	管理者 相談支援専門員	2
	サービス管理責任者研修(介護)	11/14~15	相談支援専門員	1
	発達障がい講演会	11/24	管理者 相談支援専門員	3
	第6回しまね高次脳機能障害研究会	12/8	管理者 相談支援専門員	2
	障害者サービスコーディネーション研 修会(アドバンストコース)	12/13~15	管理者	1
	平成25年度島根県高次脳機能障が い者支援研修会	1/11	管理者 相談支援専門員	2
	相談支援従事者現任者研修	1/28~30	相談支援専門員	1
	しまね高次脳機能障がいリハビリテー ション講習会	2/1	管理者 相談支援専門員	2
	相談支援従事者専門コース別研修	2/21	管理者	1
	支援者のための成年後見活用講座	2/23	管理者	1
	島根県相談支援従事者専門コース別 研修「ファシリテーター養成研修」	2/24	相談支援専門員	1
	しまね自死遺族フォーラム in おおだ	3/1	管理者	1
	高次脳機能障がい地域支援ネットワーク 中国ブロック研修会	3/8	相談支援専門員	2
	新障害区分認定に関する説明会	3/14	相談支援専門員	1

## 2)のほほん

研 修 名	実施月日	職種	参加 人数
福祉職員生涯研修【新任職員研修課程】	5/15•16 6/25•26	相談員	1
安全運転管理者等講習会	6/5	管理者	1
平成25年度家族支援学習会	7/2	相談員	1
自死に関する研修会	7/3	相談員	1
こころの健康ボランティア養成講座	7/24	相談員	1
福祉職員生涯研修【中堅職員研修課程】	7/29•30	相談員	1
発達障がい講演会	11/24	相談員	1
第5回支援事業所利用者交流会	12/5	相談員	1
障がい者虐待防止・権利擁護研修 会	3/6•7	相談員	1
新障害区分認定に関する説明会	3/14	相談員	1

## 3) ふぁみりーわーく

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
障がい児支援研修会	4/20	サビ管 生活支援員	3
平成25年度福祉職員生涯研修【新任 職員研修課程】	5/15·16 6/5·6	生活支援員	1
平成25年度福祉職員生涯研修【新任 職員研修課程】	5/22•23 6/26•27	生活支援員	1
こころの健康ボランティア養成講座	7/24	生活支援員	2
平成25年度福祉職員生涯研修【中堅 職員研修課程】	7/29•30	生活支援員	1
発達障がい講演会	11/24	サビ管	1
第5回支援事業所利用者交流会	12/5	サビ管 生活支援員	3
地域保健専門職員研修会	2/5	生活支援員	1
障がい者虐待防止・権利擁護研修会	3/6•7	生活支援員	1
新障害区分認定に関する説明会	3/14	サビ管	1

事項	内	容

## 4) 亀の子工房

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
障がい児支援研修会	4/20	職業指導員	1
チャレンジショップ浜田「きてみんさ い」視察	6/19	職業指導員	1
施設福祉士セミナー	7/9~10	施設長	1
「発達障がいを理解するための基礎講 座」(学齢期・成人期)	8/18	職業指導員	1
基礎から学ぶこれからの商品づくり 講座	10/1·29 11/26	生活支援員	1
経営力アップセミナー	11/28•29	生活支援員	1
初級リスクマネージャー養成講座	12/3•4	施設長	1
第5回支援事業所利用者交流会	12/5	職業指導員	1
地域保健専門職員研修会	2/5	職業指導員	1
しまね自死遺族フォーラム in おおだ	3/1	施設長	1
第3回農福連携推進研修会	3/4	生活支援員	1
平成25年度第2回栄養士·調理員 部会	3/10	生活支援員	1
新障害区分認定に関する説明会	3/14	施設長 生活支援員	2

## 5)遊亀館

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
障がい児支援研修会	4/20	サビ管 職業指導員	2
オーダーメイド経営戦略講座	6/1•2	館長	1
安全運転管理者等講習会	6/5	サビ管	1
平成25年度社会福祉法人指導監査説明会·実務研修会	6/10	館長	1
消費税率変更対策実務セミナー	12/6	館長	1
障がい者虐待防止・権利擁護研修会	3/6	館長	1

## 6) ジョブ亀の子

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
平成25年度障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修	5/29~31	主任就業支 援員	1
全国就業支援ネットワーク総会・就業 生活支援基礎講座	6/22	所長	1
前期就業支援スキルアップ研修	6/26~28	就業支援員	1

事 項	内	容
•	, ,	

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
広島医療保健専門学校スクーリング	7/14•15	就業支援員	1
ジョブコーチ研修	7/31~8/2 9/25~27	生活支援員	1
障害者就業・生活支援センター スキルアップ研修(後期)	10/2~4	就業支援員	1
平成25年度相談支援従事者初任者研 修	10/29·30 11/19~21	主任就業支 援員 就業支援員	2
第15回全国就業支援ネットワーク定例 研究・研修会	11/1•2	主任就業支援員 就業支援員	2
平成25年度サービス管理責任者研修 (共通)	11/11	就業支援員	1
障害者就業・生活支援センター事業中 国・四国ブロック経験交流会議	11/26	主任就業支 援員 就業支援員	2
島根県障がい者就労支援フォーラム 2013	12/12	主任就業支援員 就業支援員 職場開拓員	3
サービス管理責任者研修(地域生活 (知的・精神)	12/17•18	主任就業支 援員	1
サービス管理責任者研修(就労)	1/15•16	就業支援員	1
高次脳機能障がい地域支援ネットワーク 中国ブロック研修会	3/8	就業支援員	1

#### 7)タートルホーム

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
発達障がい講演会	11/24	世話人	1
しまね高次脳機能障がいリハビリテ ーション講習会	2/1	世話人	1
新障害区分認定に関する説明会	3/14	世話人	1

## 8)コーポ亀の子Ⅱ

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
平成25年度社会福祉法人新会計 基準研修①~新会計基準での予算 策定実務について~	10/17	世話人	1
消費税率変更対策実務セミナー	12/6	世話人	1

事 項	内	容

## 9)コーポ亀の子Ⅲ

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
新入社員フォローアップ研修	11/15	世話人	1
障がい者雇用促進セミナー	11/18	世話人	1

## 10) 亀の子デイサービス

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
平成25年度通所部会(第1回通所 研修会)	10/10	生活支援員	1
第5回 大田圏域認知症支援ネットワーク講演会	10/30	生活支援員	1
島根県高齢者虐待防止研修会	3/13	生活支援員	1

## 11) たから保育園

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
障がい児支援研修会	4/20	主任保育士 保育士	4
平成25年度「わくわく」	6/6	主任保育士	1
日本保育協会研修会	7/3~5	園長	1
平成25年度保育士現任研修【中堅コース】	7/8•9	主任保育士	1
防災管理講習	7/18•19	副園長	1
平成25年度 食物アレルギー講演・ 研修会	7/18	栄養士	1
就学前人権·同和教育講座	8/6	保育士	1
平成25年度福祉職員生涯研修【運 営管理職員研修課程】	9/4•5	副園長	1
子育て支援担当者研修	10/2•3	保育士	1
平成25年度 児童福祉施設調理担当 者研修会	10/26	栄養士	1
乳児保育推進研修	11/8•9	保育士	1
平成25年度学校等におけるアレル ギー疾患に対する普及啓発講習会	12/10	栄養士	1
平成25年度 障がい児保育推進研 修	12/17•18	保育士	1

事項	内	容

## 12)かめっ子クラブ

研 修 名	実施月日	職種	参加人数	
障がい児支援研修会	4/20	児童発達支援 管理責任者 保育士	3	
平成25年度福祉職員生涯研修【新任職員研修課程】	5/22·23 6/26·27	保育士	1	
発達障がい児研修	8/3	保育士	1	
島根県高次脳機能障がい者支援研修 会	8/10	保育士	1	
特別支援による子ども理解で指導・支援を楽しく	8/16	保育士	1	
発達障がい児のための療育生活支援 講習会	10/13	保育士	1	
発達障がい児実践研修	10/22	保育士 指導員	3	
アセスメントツール導入促進講座「PA RS の理論と評定の実際	11/2	保育士	1	
平成25年度サービス管理責任者研修 (共通)	11/11	指導員	1	
発達障がい講演会	11/24	保育士	2	
児童発達支援管理責任者研修(児 童)	1/22•23	指導員	1	
地域保健専門職員研修会	2/5	児童発達支援 管理責任者	1	
障がい者虐待防止・権利擁護研修 会	3/6•7	児童発達支援 管理責任者	1	
児童発達支援管理責任者現任研修	3/10	児童発達支援 管理責任者	1	

## 12)本部

研 修 名	実施月日	職種	参加人数
平成25年度社会福祉法人指導監査 説明会·実務研修会	6/10	理事長·監事	2

## 3. 主催研修

地域の支援者のスキルアップのために北原佶先生(鳥取県立総合療育センターシニアディレクター)を講師に迎え、下記研修を開催いたしました。

研修名•講師	実施日	対象者	参加人数
障がい児支援研修会 (演題)小児の「発達障がい」と「高次脳 機能障がい」への関わりについて	4/20	学校·保育· 福祉·医療·	71
発達障がい児実践研修 (演題)かめっ子の事例を基に関わり方に ついて学び合う	10/22	行政関係者	26

事項			7			 容		
(18)社会貢献活動			1			<u> </u>		
(10) 压五页隔码到	   1. 災害ボランティ	ア派遣						
	派遣日派遣災害人数					Ţ.		
	8/8	津和野	和野町豪雨災害復興ボランティア活動 1					
	9/3		豪雨災害				2	
4. 苦情解決	平成25年度の苦情は下記のとおりでした。							
	話し合いを行い	、改善者	苦しくは理	解をして	もらいまし	た。		
	施設名			内		容		件数
	亀の子工房	-	造した豆					3
	コーポ亀の日	-				人に流して	いる。	1
	のほほん	会	話に割り	込んでき		悪くなる。		1
			合		計			5
5. 情報公開	ホームページに ります。	て、事業	<b></b> 詳画・報	告、収支	報告、苦	情解決報	告を掲載	こしてお
	URL http://www.kamenoko.jp							
6. 法人運営	法人の円滑な道	軍営を図	るために、	次の会記	議を開催し	しました。		
	開催日							
	理事会	5/28	6/13	7/29	12/25	3/26		
	評議員会	5/28	12/25	3/26				
	監査会	5/24 (内部)	5/27					
								_